

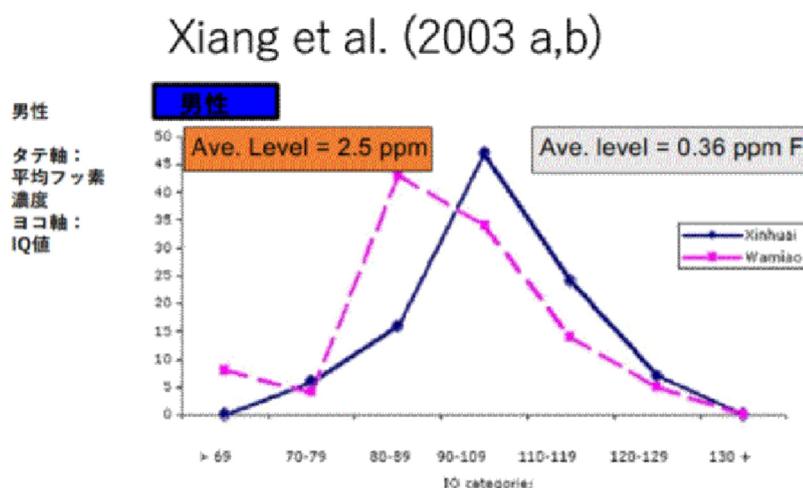
[フッ素は IQ 低下を起こしたり、ADHD を増やすなど、神経毒である]

【飲料水フッ素濃度が高いと IQ が下がる】

最初にフッ素が IQ 低下を起こすと報告されたのは 1995 年の中国だった。2003 年に Xiang が報告したのが世界中で注目を集め、2006 年の NRC 報告書にも引用され、大きな反響を与えた。

《Xiang 2003 年の報告》 Xiang, Effect of fluoride in drinking water on children' s intelligence. Fluoride 2003; 36(2): 84-94.

飲料水フッ素濃度が高い (2.47ppm) 中国江蘇省ワーミャオ村の児童の平均 IQ は、フッ素濃度の低い同省シンハイ村 (0.36ppm) よりも、5~10 ポイント低かった。



フッ素と IQ 低下の 論文数は 2008 年には 18 になり、2010 年には 23 にもなった。2012 年にはハーバード大から次のメタアナリシスが発表された。

《Choi の 2012 年の報告》 Developmental Fluoride Neurotoxicity: A Systematic Review and Meta-Analysis

ハーバード大学の研究チームが、27 のフッ素と IQ の研究のメタアナリシスを発表した。27 のうち 25 は中国、2 つはイランでの調査である。27 研究のうち 26 研究において高濃度フッ素村の IQ が、低濃度フッ素村より低く、平均で 7 ポイント IQ が低かった。

(メタアナリシスとは、複数の無作為割り付け比較試験の結果を統合し、全体像を把握する統計的手法)

《Hirzy、Connett らの 2016 年の報告》 Does drinking water fluoride influence IQ? working Paper in Fluoride · March 2017

2003 年と 2012 年の Xiang の研究をもとに計算すると、1 日あたり 1.4 mg のフッ素摂取によって IQ が 5 ポイント低下することがわかった。

《Bashash の 2017 年の報告》Prenatal Fluoride Exposure and Cognitive Outcomes in Children at 4 and 6-12 Years of Age in Mexico

Environ Health Perspect. 2017 Sep 19;125(9)

メキシコの 300 組の母子で調査すると、母親の尿中フッ素が 1ppm 高くなると、生まれた子どもの IQ が 5~6 %下がっていた。

《Green の 2019 年の報告》Association Between Maternal Fluoride Exposure During Pregnancy and IQ Scores in Offspring in Canada

Rivka Green, JAMA Pediatr. 2019 Oct 1;173(10):940-948

母親の尿中フッ素濃度が 1mg/L 増す毎に男子の IQ が平均 4.5 ポイント下がる。また、母親の 1 日フッ素摂取が 1 mg 増すと IQ が 3.7 下がる。

【水道フッ素化された水で粉ミルクを溶くと IQ が下がる】

《Till の 2020 年の報告》Fluoride exposure from infant formula and child IQ in a Canadian birth cohort

Christine Till, Environment International Volume 134, January 2020, 105315

トロントのヨーク大学の研究チームによる報告で、水道がフッ素化されていない地域に住んでいる粉ミルクで育てられた子どもと比較して、フッ素化された水道水を使用した乳児用粉ミルクを与えられた子どもの IQ が 8.8 下がり、遂行能力 IQ (非言語的 IQ) だと 19 下がるという衝撃的報告。

フッ素添加水道水で粉ミルクを溶く危険性は以前から指摘され、フッ素推進であるアメリカ歯科医師会ですら、フッ素添加された水道水は使用しないよう推奨していたほどだが、それを裏付ける研究報告。

【フッ素で ADHD が増えるという研究】

《Riddell の 2019 年の報告》Association of water fluoride and urinary fluoride concentrations with attention deficit hyperactivity disorder in Canadian youth

Julia K. Riddell, Environment International Volume 133, Part B, December 2019, 105190

カナダでの研究で、フッ素化地区の子どもは ADHD のリスクが 3 倍になる。水道水中フッ素濃度が 1ppm 高くなると ADHD のリスクが 6 倍になるという。

《Malin と Till の 2015 年の報告》Exposure to fluoridated water and attention deficit hyperactivity disorder prevalence among children and adolescents in the United States

Ashley J Malin, Christine Till, Environ Health. 2015 Feb 27;14:17.

カナダのトロント市ヨーク大学精神科の Ashley J Malin と Christine Till の研究で、フッ素化率が最も低い米国の州と比較すると、最もフッ素化率が高い米国の州は ADHD の割合が 50% も高い。

フッ素とADHD

州のフッ素化率 (%) の増加に伴い
ADHDの罹患が劇的に拡大。

フッ素化率が最低の州と比較して
最高の州はADHDの割合が50%も
高い。

図1 州の平均世帯所得 (1992) により調整し
たADHDの予測罹患率とフッ素化率

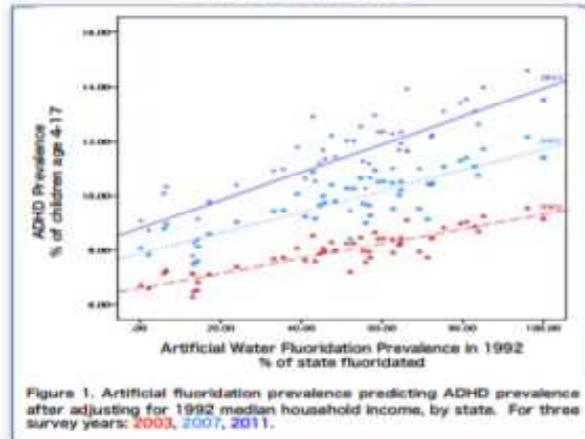
タテ軸: 4~17歳でのADHDの割合 (%)
ヨコ軸: フッ素化州の割合 (%) 1992年

調査年度

上青実線 2011

中青破線 2007

下赤実線 2003



また、2003年、2007年、2011年の比較では、フッ素化率の増加につれ、ADHDの罹患率も増加していることがわかる。

グラフは Fluoride Action Network 作成